

## 日本農学アカデミー 第16回総会報告

第16回総会は、平成25年7月13日（土）13時00分より東京大学大学院農学生命科学研究科フードサイエンス棟2F中島董一郎記念ホールで行われた。出席会員数は136名（含：委任状106名）で総会は成立した。総会では下記の議案について審議が行われ、いずれの議案も承認された。総会に先立ち開催された理事会には、理事18名（含：委任状5名）、監事2名が出席した。

なお、総会終了後14時45分よりミニシンポジウムとして「人工光型植物工場の技術革新とビジネスモデル」が開催された。今回は、今秋の本シンポジウムへ向けた勉強会であったため会員のみ案内を出したが、多くの会員の出席があり、活発な議論がなされ盛会であった。

### 日本農学アカデミー第16回総会 総会資料

#### 第1号議案 平成24年度事業報告（案）について

- 1 会員数の状況 正会員 209名（2013.4.1現在：特別顧問9名を含む。）、賛助会員3団体  
平成24年度の入会者（別紙①）
- 2 シンポジウムの開催  
別紙②
- 3 ミニシンポジウムの開催
  - (1) 日 時 平成24年7月14日（土） 14:45～17:00
  - (2) 場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟2階  
中島董一郎記念ホール
  - (3) テーマ 農林水産業の六次産業化による地域振興の諸問題
  - (4) 内 容
    - ・話題提供
      - ① 農業政策のポイント  
農水省食料産業局食品小売サービス課外食産業室長 山口 靖
      - ② 地域の可能性を追いかけて  
東京農業大学総合研究所環境共生専攻教授 両角 和夫
      - ③ 農業経済学の立場から

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 中嶋 康博

④ 漁業・水産加工と漁村振興

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 黒倉 壽

⑤ 農業による地域振興に向けての一視点

NPO 法人国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) 理事長 西山 徹  
・総合討論 司会 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎

#### 4 会報の発行

会報については、平成 20 年度から冊子での発行をやめてホームページに掲載することとしていますが、24 年度は 17 号 (6 月) 及び 18 号 (12 月) を作成し、ホームページに掲載した。

なお、25 年度前期に発行予定の会報第 19 号については、6 月 18 日にホームページに掲載した。

#### 5 学術シンポジウム等の後援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の後援及び助成を行った

- (1) 中山間地域フォーラム主催の公開シンポジウム「中山間地域再生の潮流」の後援及び助成
  - (2) 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災がもたらした食糧問題を考える」の後援及び助成
  - (3) (公社) 日本工学アカデミー主催の公開シンポジウム「日本農業の原(現)状と未来」の協賛及び助成
- (シンポジウムの講演内容、後援・助成金額等の詳細は、別紙③)

#### 6 総会、理事会等の開催

##### (1) 幹事会の開催

- |      |   |
|------|---|
| ア 日時 | 平成 24 年 5 月 8 日 (火) 16:30~18:00   |
| イ 場所 | 東京大学農学部弥生講堂内会議室   |
| ウ 議題 | ① 第 15 回総会の議案案件について<br>② 理事会の案件について<br>③ 第 7 期役員の変更について<br>④ 平成 24 年度の事業について<br>⑤ その他 |

##### (2) 理事会の開催

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| ア 日時 | 平成 24 年 7 月 14 日 (土) 11:30~13:15 |
| イ 場所 | 東京大学農学部 3 号館 1 階 141 会議室         |

- ウ 議 題 ① 第 15 回総会の議案案件について  
② 第 7 期役員を選任について  
③ 平成 24 年度の事業について  
④ その他

(3) 第 15 回総会の開催

ア 日 時 平成 24 年 7 月 14 日 (土) 13:30~14:30

イ 場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟 2 階  
中島董一郎記念ホール

- ウ 議 題 (1) 平成 23 年度事業報告 (案) について  
(2) 平成 23 年度収支決算 (案) について  
(3) 平成 23 年度決算の監査報告について  
(4) 平成 24 年度事業計画 (案) について  
(5) 平成 24 年度予算 (案) について  
(6) 第 7 期役員 (理事、監事) の選任について  
(7) 第 7 期役員 (会長、副会長) の選任について  
(8) その他

7 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報 17 号及び 18 号を掲載するなど内容の充実を図った。

(参考) 日本農学アカデミー URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aaj>

第 2 号議案 平成 24 年度収支決算 (案) について  
(別紙④及び別紙⑤) 別紙⑥: 監事監査報告

第 3 号議案 平成 25 年度事業計画 (案) について

- 1 会員の拡大
- 2 会報第 19 号及び第 20 号の作成 (6 月 18 日に会報第 19 号を H.P に掲載)
- 3 ミニシンポジウムの開催  
(別紙⑥)
- 4 シンポジウムの開催等
- 5 学術シンポジウムの助成及び後援
- 6 総会、理事会等の開催
- 7 ホームページの充実
- 8 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言

及び会長談話等の発出

9 その他本会の目的を達成するために必要な事業

第4号議案 平成25年度予算（案）について  
（別紙⑦）

第5号議案 特別審議「国立大学農学部のミッション再定義について」  
（別紙⑧）

## 別紙①

### 平成 24 年度の新入会員

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月の間に新たに日本農学アカデミーの会員となられた方。

#### 一般会員（19 名）

木内 博一 （株）和郷  
岸田 嘉徳 （株）新農林社代表取締役社長  
國本 裕 味の素（株）代表取締役副社長  
小島 昭夫 農研機構野菜茶業研究所長  
佐々木 卓治 東京農業大学総合研究所教授  
清水 浩 京都大学大学院農学研究科教授・第 22・23 期日本学術会議連携会員  
高橋 迪雄 （株）グローバルニュートリション  
寺島 一男 農研機構中央農業総合研究センター所長  
寺田 文雄 農研機構九州沖縄農業産業研究センター所長  
土肥 宏志 農研機構畜産草地研究所所長  
富田 房男 北海道大学名誉教授  
鳥居 邦夫（株）鳥居食情報調節研究所  
中嶋 康博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授・第 22・23 期日本学術会議連携会員  
中村 保典 秋田県立大学理事  
中村 宗一郎 信州大学農学部長  
宮下 和夫 北海道大学大学院水産科学研究院教授・第 21・22 期日本学術会議連携会員  
両角 和夫 東京農業大学総合研究所教授  
山口 勇 （社）日本植物防疫協会理事長  
吉川 泰弘 千葉科学大学副学長・第 22 期日本学術会議会員

以上 19 名

#### 賛助会員（1 団体）

味の素株式会社

別紙②

◎平成 24 年度シンポジウムの開催実績

I 「六次産業化は農業と地域経済を変えるか！食と環境と健康の経営と科学」

1. 日 時 平成 24 年 12 月 9 日（日） 13: : 00~17 : 30  
2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂一条ホール  
3. 主 催 日本農学アカデミー・(公財) 農学会  
4. 後 援 日本農学会、実践総合農学会、  
5. 内 容  
総合司会 日本農学アカデミー理事 陽 捷行  
話題提供

1. 「(政策) 「新たな政策と課題」  
農林水産省審議官 (食料産業局) 櫻庭 英悦

2. (経営) アグリビジネス論ー二つの事例  
「消費者と生産者をつなぐ食のネットワーク」  
農事組合法人 和郷園 代表理事 木内 博一

- 「ひたすら、過疎地で 40 年ー限界集落の農業の变身」  
(有) やさか共同農場代表 佐藤 隆

3. (研究と技術)  
「植物乳酸菌研究の最先端」 東京農業大学教授 岡田 早苗

- 「バイオマスマテリアルと環境エネルギー技術」  
北海道大学名誉教授 市川 勝

- 「健康食品の現代的意義ーヒトと人のミスマッチを埋める」  
(株) グローバルニュートリショングループ・  
東大名誉教授 高橋 迪彦

総合討論 コーディネーター日本農学アカデミー副会長 生源寺眞一

## II 「放射能汚染の不安に答えるー水産物はどこまで安全かー」

1. 日 時 平成 25 年 2 月 24 日 (日) 13:00~17:10
2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂
3. 主 催 日本農学アカデミー・(公財) 農学会
4. 内 容  
司 会 (公財) 農学会会長 會田 勝美  
講 演

1. 「海洋への放射性物質の放出・蓄積とそれによる海洋生物に放射能汚染」  
東京海洋大学教授 石丸 隆
2. 「魚介類の放射能汚染とモニタリングの現状・課題」  
水産庁増殖推進部研究指導課 森田 貴己
3. 「水産動物におけるセシウムの取り込みと排出」  
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 金子 豊二
4. 「消費者の安全を守りながら福島県の漁業を復興することはできるか」  
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 八木 信行
5. パネルディスカッションー水産物はどこまで安全かー  
司会・進行 (公・財) 農学会会長 會田 勝美

## III 「3・11 に学ぶ減災ー災害時の食料供給」

1. 日 時 平成 25 年 3 月 7 日 (木) 13:00~17:00
  2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂
  3. 主 催 日本農学アカデミー・(公財) 農学会
  4. 後 援 東京大学大学院農学生命科学研究科、日本農学会
  5. 内 容  
講 演
1. 「政府の取り組み『食料支援、各展開せり』」  
(3.11 当時) 農水省食料調達チーム調達班長 土居 邦弘
  2. 「企業の取り組み『山崎製パン株式会社の取り組み』」  
山崎製パン (株) 執行役員 内部統制・環境対策担当 森本 廣

3. 「企業の取り組み『(株) イトーヨーカ堂の取り組み』  
(株) イトーヨーカ堂執行役員 物流部長 飯原 正浩
4. パネルディスカッション  
進行 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 八木 信行



## 別紙③

### 平成24年度支援シンポジウム一覧

1. 中山間地域フォーラム6周年記念シンポジウム「中山間地域再生の新潮流」  
日時：平成24年7月1日（日）14：00～17：30  
場所：東京大学農学部弥生講堂一条ホール  
主催：中山間地域フォーラム  
共催：日本農学アカデミー、(財)農学会、東京大学大学院農学生命科学研究科  
後援：全国水源の里連絡協議会、  
経費負担：3万円
  
2. 公開シンポジウム「東日本大震災がもたらした食糧問題を考える」  
日時：平成24年11月21日（水）13：20～17：30  
場所：日本学術会議講堂  
共催：日本学術会議東日本大震災に係る食料問題分科会、水産学分科会、農業経済学分科会、農業情報システム学分科会農芸化学分科会  
後援：日本農学アカデミー、日本水産学会、日本農業経済学会、日本農芸学会、農業機械学会、東京大学大学院農学生命科学研究科アグリコクーン  
経費負担：3万円
  
3. 公開シンポジウム「日本農業の原（現）状と未来」  
日時：平成25年4月5日（金）13：30～18：30  
場所：バイオインダストリー協会  
主催：(公社)日本工学アカデミー  
後援：日本農学アカデミー、バイオインダストリー協会、フードシステム学会、日本調理科学会、化学工学会バイオ部会  
経費負担：3万円

別紙④ 日本農学アカデミー 平成 24 年度収支決算書 (案)

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
I 収入の部				
前年度からの繰越金	3,145,989	3,145,989	0	
会費収入	2,025,000	2,385,000	△360,000	正会員分 2,235,000 円 賛助会員分 150,000 円
雑収入	0	2,879	△2,879	懇親会参加費残額
預金利息	800	683	177	
収入合計 (A)	5,171,789	5,534,551	△362,762	
II 支出の部				
会議費	253,000	156,520	96,480	総会、幹事会、シンポジウム等
諸謝金	250,000	320,000	△70,000	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	112,000	49,128	62,872	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	20,000	2,539	17,461	事務用消耗品
図書購入費	961,000	1,022,551	△61,511	月刊「学術の動向」購入費
印刷製本費	178,000	33,600	144,400	CD(会報1号～16号)、封筒
シンポジウム等助成費	150,000	90,000	60,000	シンポジウム等の助成
ホームページ管理費	180,000	180,000	0	ホームページ更新料等
諸経費	200,000	200,000	0	電話料等事務管理費
振込手数料	23,000	23,525	△525	会費払込料加入者負担等
予備費	100,000	0	100,000	
支出合計 (B)	2,427,000	2,077,823	349,177	
次年度への繰越金 (A)-(B)	2,744,789	3,456,728	△711,939	

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	2,879
郵便貯金	25,357

三井住友銀行定期預金	1,000,000
三井住友銀行普通預金	2,428,492
計	3,456,728

別紙⑥

日本農学アカデミーミニシンポジウム



## 「人工光型植物工場の技術革新と ビジネスモデル」

日 時 平成 25 年 7 月 13 日 (土) 14 時 45 分～17 時 00 分  
場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟 2F  
中島董一郎記念ホール

### プログラム

開会挨拶 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎

基調講演 人工光型植物工場の進歩と今後の発展方向

日本農学アカデミー理事 千葉大学名誉教授 古在 豊樹

### 話題提供

- 1 人工光下の植物生育と光環境制御  
千葉大学教授 後藤 英司
- 2 植物工場の技術特性を踏まえたビジネスモデル構築戦略  
日本総研 創発戦略センター主任研究員 三輪 泰史  
(休憩)
- 3 園芸施策における植物工場  
農林水産省生産局 花・き産業・施設園芸振興室長 川合 豊彦
- 4 討 論 コーディネーター 古在 豊樹  
コメント 日本農学アカデミー副会長 山野井昭雄  
日本農学アカデミー会員 岩元 睦夫

閉会挨拶

---

主 催 日本農学アカデミー

**日本農学アカデミー事務局**

〒106-0031 東京都港区西麻布 3-24-20

(財) 日本学術協力財団内 (担当 南)

TEL 03-5410-0242 FAX 03-5410-1822

## 別紙⑦

日本農学アカデミー 平成25年度予算(案)  
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
前年度からの繰越金	3,456,728	
会費収入	2,105,000	正会員 200名、賛助会員 3団体
預貯金利息	700	24年度実績
収入合計 (A)	5,562,428	
II 支出の部		
会議費	253,000	総会、幹事会、シンポジウム運営費等
諸謝金	400,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	112,000	総会等案内、シンポジウム案内等、切手、
消耗品費	20,000	事務用消耗品
印刷製本費	178,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	961,000	月刊「学術の動向」購入費(120*667*12月)
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金@30,000(5件)
ホームページ管理費	120,000	ホームページ更新料等
業務委託費	200,000	事務管理費
振込手数料	22,000	会費振込手数料(加入者負担)
予備費	100,000	
支出合計 (B)	2,516,000	
次年度への繰越金 (A)-(B)	3,046,428	

別紙⑧

第5号議案

特別審議「国立大学農学部ミッション再定義」について

コメント 概況と問題のポイント（10分）

東京大学大学院農学生命科学研究科長

古谷 研

コメント 単科大学での捉え方（10分）

東京農工大学農学部長

荻原 勲

コメント 専門分野の問題意識（10分）

農業・農村工学会 専務理事

小前 隆美

討 議（20分）